2020 年度

大刀洗町住民協議会 答申

「大刀洗公園の今後をどうする？ゼロから考えてみよう！」

2021 年 6 月 24 日

大刀洗町住民協議会

目次：

１．答申にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２．住民協議会実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

３．大刀洗公園の今後を考えていくための提案書・・・・・・・・・・・・・3

４．付録：アンケート結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

１．答申にあたって

大刀洗町長　中山 哲志　様

第７期（9 テーマ目）となる住民協議会は、昨年 11 月から４回にわたって議論を重ね、それらを集約し「提案書」を作成しましたので、諮問への答申といたします。

現在、新型コロナウイルスが全世界的に猛威を振るっています。日本国内でも感染は広がり、一時は外出が制限されるなど、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。そのような中にあっても、町民と行政の対話を不要不急と判断せずに住民協議会を実施された、町長をはじめ職員の皆さんには敬意を表します。

今回、「大刀洗公園の今後をどうする？ゼロから考えてみよう！」をテーマに、設置から 15 年が経過している大刀洗公園の今後をどのように「自分ごと化」していくかという観点に立ち、議論を進めました。

会議の場では回を追うごとに、「家族や友人、職場の同僚と大刀洗公園について話してみた。」「大刀洗公園へ実際に行ってみた。」など、協議会に参加したことをきっかけに、実際に行動を起こしたという意見が増えていきました。

また、「菊池武光公の銅像があることを活かして、利用者が町名の由来や戦時中の町の歴史も学べる場所にしたらどうか。」「花壇に町民が植栽をして華やかな雰囲気にしたい。」などの意見が出てきたことは、まさに大刀洗公園の今後を「自分ごと」として捉えられていることが証明されているのではないかと感じています。そして、私たちのこれからの行動に繋げていく一歩として、協議会の中で議論した遊具の更新が行われた際には、今回の住民協議会の委員で記念植樹をするなど、全世代の町民に親しまれる公園に向けたきっかけづくりができれば、とても嬉しく思います。

これまで、様々なテーマで住民協議会を行ってきたことで、町全体に「自分ごと化」の意識が徐々に浸透してきていると感じています。引き続き、町民と行政が一緒に町のことを考えるこの場を継続して設けていただきたいと思います。私たちも、公園のことに限らず、町のこと全体に対して今後も積極的に関わりを持ち続けてまいります。

2021 年 6 月 24 日

大刀洗町住民協議会委員　一同

2．住民協議会概要

大刀洗町としては７期目（9 テーマ目）となる「住民協議会」を実施した。
委員、テーマ及び各回の議論は以下の通りである。

○ 委員

無作為に抽出し協議会委員の案内を送付した数	490 件
応募した委員（応募率）	39 名（8.0%）
参加した委員の数 ・応募のあった委員の中から 25 名を選任	25 名

○テーマ及び各回の議論

テーマ：「大刀洗公園の今後をどうする？ゼロから考えてみよう！」

各回の議論

・第 1 回会議：2020 年 11 月 23 日（月・祝）
住民協議会の概要説明（構想日本）
テーマに関する説明（建設課）
委員の自己紹介など

・第 2 回会議：2020 年 12 月 26 日（土）
テーマについて全体で協議
「改善提案シート」の記入　など
ナビゲーターの参加

・第 3 回会議：2021 年 2 月 6 日（土）
「改善提案シートの中間とりまとめ」について全体で協議
「改善提案シート」の記入　など

・第 4 回会議：2021 年 3 月 13 日（土）
「提案書(案)」について全体で議論
「意見提出シート」の記入　など

３．大刀洗公園の今後を考えていくための提案書

大刀洗公園の今後を考えていくための提案書

以下の４つの提案は、令和 2 年度大刀洗町住民協議会の第 2 回会議、第 3 回会議で委員が記載した「改善提案シート」と第 4 回会議で記載した「意見提出シート」の内容及び各回の協議内容を踏まえて取りまとめた。

【大刀洗公園の今後の方向性】

まずは、町民も行政も「自分たちの公園だ」という意識を持つことから始める必要があるのではないでしょうか。それにより、今後の大刀洗町公園の利用のルールや、様々なイベントの実施を自分たちのこととして考えていけるようになると思います。また、行政は引き続き遊具の維持管理など安心・安全に関わる整備を行っていく中で、公園の利用ルールや設備（柵の設置など）について、今回の住民協議会のような住民参加型での議論を重ねていくことが必要です。

また、これからは町外からの利用者なども交えて公園をテーマにした会議体を立ち上げ、公園の管理方法（例：ポイント制を活用したボランティア制度の導入など）や利用ルールについて意見交換していくことも必要になると考えています。

大刀洗公園が全町民に親しまれる公園になれば、近隣市町に住んでいる人たちもさらに利用するようになり、大刀洗町の良さがより広がります。その結果、「大刀洗町に住みたい」「大刀洗町で子育てしたい」という人たちが増えることも期待できるのではないでしょうか。こうした方向性に進んでいくためにも、「令和 7 年度末までに公園の利用者を 65,000 人まで回復」など、短期的な指標を設定し、様々なことに取り組んでいくことも必要と考えます。

改善提案の項目

提案	1.	子どもから高齢者まで全世代の町民に親しまれる公園にしたい。特に子育て世帯が利用しやすい公園になるようにハード面（遊具など）とソフト面（イベントなど）の整備・充実を行うことで、多様なコミュニティづくりの場にしていく。
提案	2.	公園を見守るように置かれている菊池武光公像と町名の由来、戦時中の物語など歴史・文化の公園としての位置付けを考える。
提案	3.	町民全員が「自分たちの公園」と思えるように、場所や利用方法、イベント情報などを周知する方法を考える。
提案	4.	公園は字の如くみんなの物（公（おおやけ）の物）、つまり「自分たちの公園」という意識をまずは持ち、きれいに使うなど出来ることから徐々に自分たちで管理をしていく。

提案	1．	子どもから高齢者まで全世代の町民に親しまれる公園にしたい。特に子育て世帯が利用しやすい公園になるようにハード面（遊具など）とソフト面（イベントなど）の整備・充実を行うことで、多様なコミュニティづくりの場にしていく。

街並みを見ていると、近年、新築住宅やアパートの軒数が増え、子育て世帯の町民が増えている。これは、町の政策として子育て支援に力を入れていることの表れであると言えるだろう。そのため、特に子どもたちと子育て世帯を利用者の中心に据え、ハード面として目玉になる遊具の設置（更新）作業を進めていくと同時に、子どもの年代に合わせた遊ぶエリアのゾーニングや「ちゃお」の子育てイベントの充実など、ソフト面での整備を進めていく。また、並行して、健康志向の利用者に向けたウォーキングガイドの作成や同世代・異世代交流の場としての活用を考えることで、多様なコミュニティづくりの場にしていく。

「提案１」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

私たち町民	① 公園のルールを守る。 ② 子どもへのルール教育を行う。 ③ 自分で活用できることを探しながら利用する。 ④ 地域の特徴を知る（例：バスケが県としても地域としても強い）。 ⑤ 遊具に関して具体的な意見、案を役場に提案する。 ⑥ 遊具を使ってみて危険箇所がないかなどを確認する。 ⑦ 夜に利用するときには、自分でライトを持っていく。 ⑧ ボール遊びをしている子どもたちを見守る。 ⑨ 川沿いに柵がないので子どもたちに注意を促す。 ⑩ 防犯上の観点から管理棟のトイレを使うように子どもに伝える。 ⑪ 住民が中心になって楽しめる、夏祭りなどのイベントを積極的に企画する。
地域	① 公園で行われる各種イベントや公園に関する色々な情報を発信し、より多くの人に知ってもらう。 ② 大刀洗川の草刈りを行う（今でも１年に２度されている）。 ③ 遊具を使ってみて危険箇所がないかなどを確認する。 ④ 川沿いに一部柵を設ける、もしくは、それ以外の方法を検討する。 ⑤ ポイントごとに LED ランプ等を設置して照明不足に対応する。

	⑥　川沿いに柵がないので子どもたちに注意を促す。 ⑦　農業者の知見を活かして花壇などに四季の花を植える。 ⑧　遊具の設置に向け具体的な意見を集め、声を上げる。
行政	①　公園が利用しやすくなるようにルールの見直し（簡略化）をする。 ②　利用のルールを書いた看板を設置する。 ③　公園を会場にしたイベントを増やす。 ④　中高生が使える場所・遊具等の設置をする（スケボーコーナー、バスケットゴールなど）。 ⑤　遊具の定期的な点検を行う。 ⑥　ウォーキングコースを作る。 ⑦　夜間の照明不足の解消及び花木のライトアップを行う。 ⑧　柵の設置を検討する（町民・利用者と柵に関する継続的な議論を行う）。 ⑨　公園のコンセプトでもある「花の風景づくり」から、川沿いに柵ではなく、花壇やプランターを危ない範囲に置くという選択肢も考える。 ⑩　安心安全のためにトイレを明るくする。 ⑪　目玉になる遊具の設置（更新）に合わせて、遊具の周りやそばに何席か屋根付きのベンチを設置する。 ⑫　遊具のゾーン（遊ぶゾーン）と愛犬家のゾーンのゾーニングを考える。
民間企業、NPO 等	①　行政と一緒に安全面を考えて、ハード面の整備を行う。

«その他の意見»

①　子どもの好きな遊具が少なすぎる。

②　新しい遊具を設置する。

③　ライトアップの費用等が問題あれば、ソーラー型などを考える。

④　大刀洗公園に遊具設置が済んだ後は、下高橋公園への設置も検討して欲しい。

提案

2．公園を見守るように置かれている菊池武光公像と町名の由来、戦時中の物語など歴史・文化の公園としての位置付けを考える。

菊池武光公が太刀を洗ったから大刀洗という町名の由来は誰もが知るところではあると思うが、菊池武光公銅像の台石に戦時中の弾痕があること、町内に旧陸軍の飛行場があったことなどは広く知られていないと思われる。既存の公園のコンセプト「大刀洗の歴史を活かした公園づくり」にもあるように、公園を単に集いの場、遊びの場とするだけではなく、町の歴史も学べる場にしていく。

「提案２」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

私たち町民	① 歴史にちなんだイベントを所属団体（JA など）に提案する。 ② 菊池武光を知ってもらえるようにいろいろな人に話をする。 ③ 町の歴史に興味を持つ。
地域	① 歴史を学べる機会（小中学校の校外学習など）があれば積極的に参加し、歴史文化を勉強する。 ② 菊池武光像にちなんだイベントや祭りを開催する。
行政	① 歴史にちなんだイベントを積極的に計画する。 ② 銅像の場所を移動するのは困難なので、イラストを用いてわかりやすい由来や説明を添える、花やライトなどで明るく華やかにするなどして、その場に立ち止まれるようにする。

«その他の意見»

① 公園の名称の変更を検討してはどうか（例：菊池武光（大刀洗）公園や大刀洗菊池公園）。

提案 3．町民全員が「自分たちの公園」と思えるように、場所や利用方法、イベント情報などを周知する方法を考える。

菊池校区に住んでいる人以外は、大刀洗公園の場所や公園の存在自体を意識していない町民も多いと思われる。まずは全町民が公園の存在を知り、自分たちの公園と思えるように、公園の存在を広報紙で周知するだけでなく、SNS の活用やイベントの実施などでアピールしていく。将来的には、町民以外の人達にも活用してもらえるようにする。

「提案３」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

私たち町民	① 積極的に利用をする。 ② 休日の犬の散歩など、目的に応じて定期的に利用する。 ③ 公園に関する意見を挙げる。 ④ 役場 HP や SNS 等で公園の存在を広める。 ⑤ 桜の花が綺麗など、町外の友人や知人に勧める（公園をアピールする）。 ⑥ 利用している知り合いに公園の感想を聞く。 ⑦ 公園のゴミを拾う。
地域	① 夏祭り・歴史を利用したもの・世代別のスポーツ大会・愛犬家が集まるものなどの様々なイベントを行い、公園を知ってもらう。 ② 高齢者も利用しやすいように地域で情報を拡散していく。 ③ 回覧板や SNS で広く情報発信をする。 ④ 地域住民で草刈りなど、公園の清掃を行う。 ⑤ 悪いイメージを持たれないように綺麗に使う。 ⑥ 利用した感想などを正直に話し合う。
行政	① ほかの校区の町民にも利用を促す ② 既存の看板を目立つようにする。 ③ 県道や公園付近など町内に看板・標識などを設置する。 ④ 園内の看板に一周の距離など目安を記入する。 ⑤ ローカルテレビに来てもらい PR を行う。 ⑥ 大刀洗町の公式 LINE を作成し、公園の周知を行う。 ⑦ 広報紙に公園で行われるイベントを掲載する。 ⑧ 公園の名前の変更を検討する（インパクトがあって認知されやすい？）。 ⑨ ウォーキングエリアと多目的エリア、スポーツエリア、ドッグランエリアなど、様々な人が使いやすくなるようなゾーン設定を行う。

⑩　どの範囲まで使用が可能なのかを周知する。

«その他の意見»

① LINE の活用例は、大規模な自治体は熊本市、小規模な自治体は遠賀町が参考になる。

② 公園のサブタイトル：「広い駐車場と芝生の広場があります。あなたも公園デビューしませんか？」はどうか。

③ 遊具や環境調整された後に名称を変更して認知度 UP を狙う。

提案	４．	公園は字のごとく「みんなの物（公（おおやけ）の物）」、つまり「自分たちの公園」という意識をまずは持ち、出来ることから徐々に自分たちで管理をしていく。

運用ルールや柵を始めとする安心安全に関する課題など、引き続きの議論が必要な項目はまだまだ存在する。この住民協議会のように、町民や利用者の意見を随時取り入れるような場や組織作りを進めていく。また、「大刀洗川を保存する会」のように既に活動している団体と、町民・利用者が一緒になって活動していくことを自主管理の一歩目としていく。

「提案４」の実現に向けて、**それぞれが行うこと**

私たち町民	① 自分が出したゴミは捨てずに持ち帰る。 ② 利用中に気が付いたら落ちているゴミを拾う。 ③ 自分たちのものという意識向上に努める。 ④ 夏祭り、大刀洗音頭で盆踊りを夏の風物詩として位置付ける。 ⑤ ボランティアの呼びかけがあれば参加する。 ⑥ 花壇とその周りの環境整備（清掃）をする。 ⑦ 管理人に網を借りて川の掃除をする。 ⑧ 公園に関するアンケートなどがあれば協力する。
地域	① 芝生の草刈り、見回り（ガラス等が落ちていないか調べる）を行う。 ② ボランティアを募り、花壇・花を植える（例：コスモス通りを作ることで公園内を導線で繋ぐ）。 ③ 「我が町」をテーマに、他校区のボランティアに参加できるように何かしらの仕組みを作る。 ④ 川を守る会として川周辺のゴミ拾いなどの清掃活動や草刈りを行う。 ⑤ 公園の運営会を利用者とともに立ち上げ、対面・SNS で集めた意見を反映したり、各種イベントの情報を発信する。
行政	① 網、ゴミ袋、軍手等の提供をする。 ② 短期・中期・長期で実施して行くことを見える化し、必要に応じて予算を確保する。 ③ 水をテーマにした公園なので、川の整備（水質の改善）を行う。 ④ 町民に情報発信して、清掃を行うボランティアを募る。その際にはポイント制にして景品がもらえるなど、参加者に対して何かしらのメリットを与える。 ⑤ 住民や利用者で組織する運営会の開催場所を提供する。

«その他の意見»

① サブコンセプトとして「みんなで守ろう大刀洗の和」というものはどうか。

※「輪」にすると大刀洗の住民だけのような感じになりそうだから。

その他の個別の意見

① 水質の改善を図る。

② ビフォーアフターのように、少しずつ水が綺麗になる公園としてコンセプトを守る。

③ 川の汚れを早く対処する。

④ 一つの案として、見えないように上をふさいでしまうとか（柵をする心配がなくなる、落ちる心配がなくなる）、ゴミが流れてくるのであれば上流でゴミを一時堰き止めて回収する。管理会社が入っているのであれば、その点も気にしてもらう。

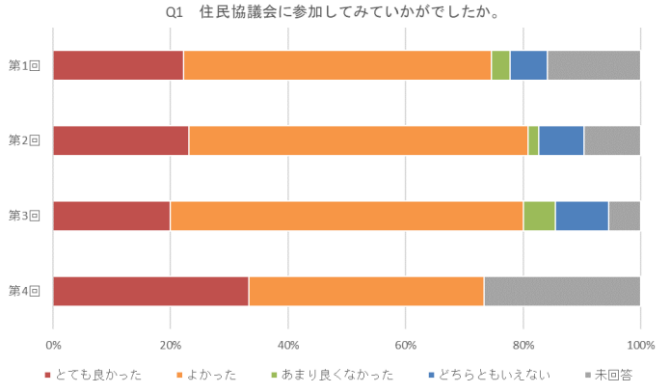
⑤ この提案（住民協議会での意見）が、今後どのように活かされ、どのような形で進められていくのか、目的や計画などを何らかの方法で知らせてほしい。その中で、何か手伝えることがあれば参加したい。

⑥ 昨年度７月の豪雨は公園に影響はないのか。

４．付録：アンケート結果

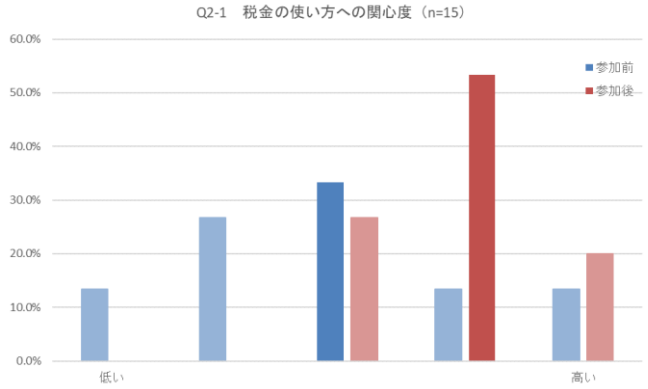
第 4 回住民協議会の終了後に実施したアンケート結果（抜粋）を下記に示す（第 1～3 回に実施したアンケートと同様の質問については、その結果を比較して掲載）。

Q1 住民協議会に参加してみて、いかがでしたか。

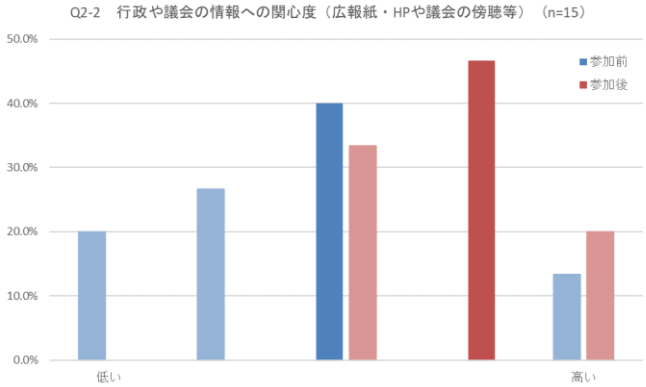


Q2 住民協議会に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わる頻度など変化はありましたか。

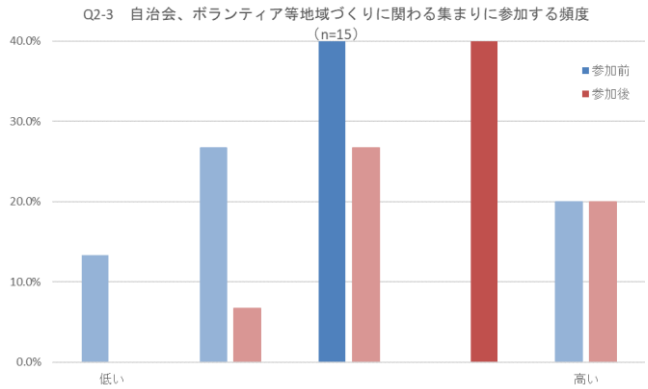
Q2-1 税金の使い方の関心（参加前後）



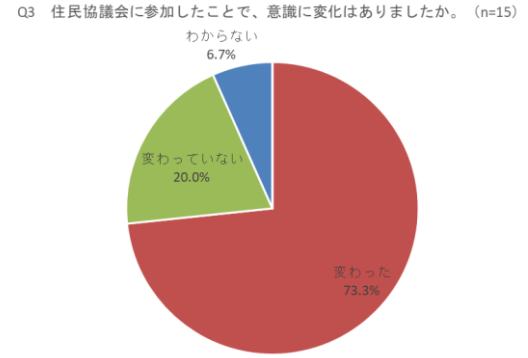
Q2-2 行政や議会の情報への関心度（広報紙・HP や議会の傍聴等）（参加前後）



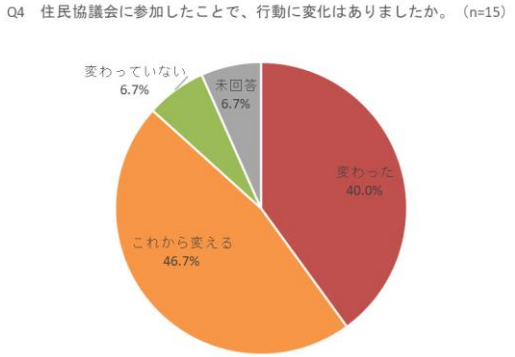
Q2-3 自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度（参加前後）



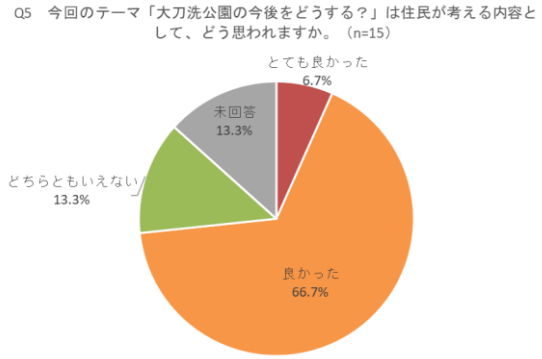
Q3 住民協議会に参加したことで、意識に変化はありましたか。



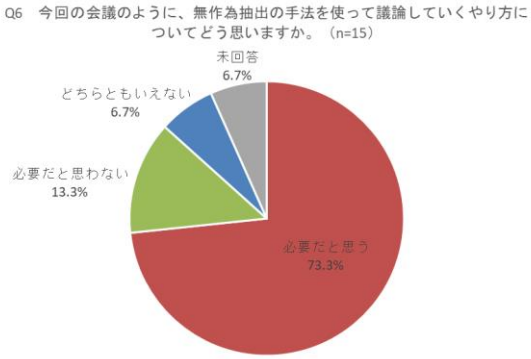
Q4 住民協議会に参加したことで、行動に変化はありましたか。



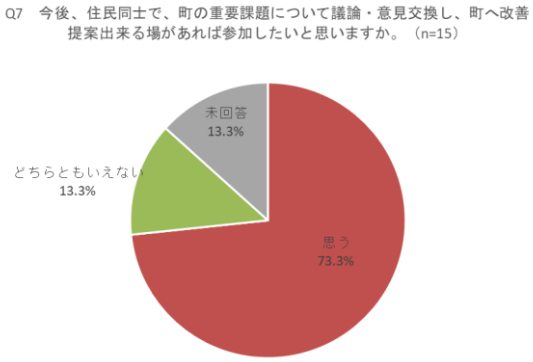
Q5 今回のテーマ「大刀洗公園の今後をどうする？」は住民が考える内容として、どう思われますか。



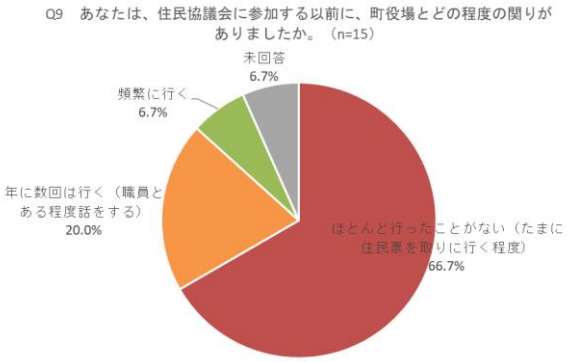
Q6 今回の会議のように、無作為抽出の手法を使って議論していくやり方についてどう思いますか。



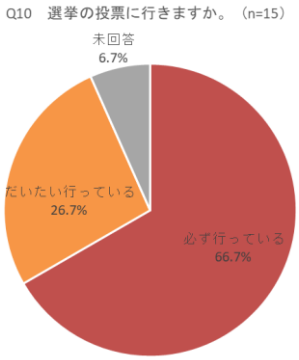
Q7 今後、住民同士で、町の重要課題について議論・意見交換し、町へ改善提案出来る場があれば参加したいと思いますか。



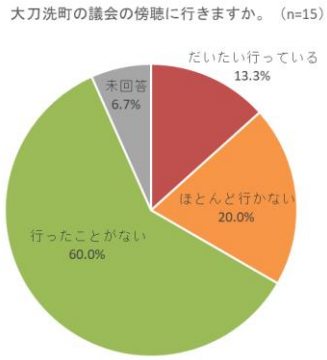
Q9 あなたは、住民協議会に参加する以前に、町役場とどの程度の関りがありましたか。



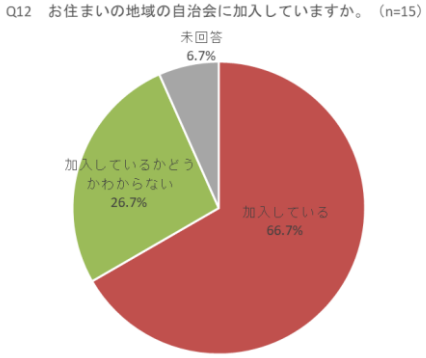
Q10 選挙の投票に行きますか。



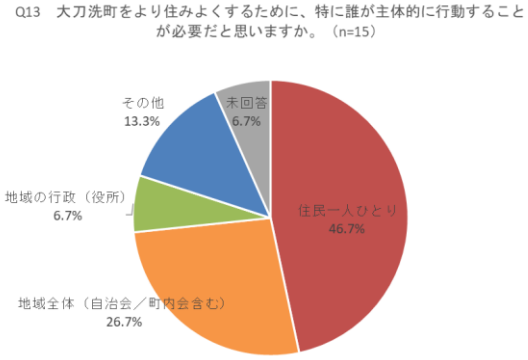
Q11 大刀洗町の議会の傍聴に行きますか。



Q12 お住まいの地域の自治会に加入していますか。



Q13大刀洗町をより住みよくするために、特に誰が主体的に行動することが必要だと思いますか。



Q3 住民協議会に参加したことで、意識に変化はありましたか。（具体的に変わった点；自由記載）

〇大刀洗町が良くなることに携わっていきたい。

〇大なり小なり、公共の場は住民も協力していくようにしなければならないと思いました。

〇子どもを遊具で遊ばせるためだけに公園に行っていましたが、色々と考えさせるようになりました。

〇住民のためのサービスは役所が主にやってくれるものと考えていたが、自分ごととしてと考え方が変化しました。

〇歴史に興味を持った。

Q4 住民協議会に参加したことで、行動に変化はありましたか。（具体的に変わった点（変える点）；自由記載）

〇今まで大刀洗公園についてあまり知らなかったところがあったけど、この住民協議会に参加して、大刀洗公園のことをたくさん知れたので、友人や家屋に知ってもらえるように声掛けをしていきたい。

〇色々な会に参加したい。

〇何か自分で役に立つことがあれば、時間が許せば関わっていこうと思いました。

〇公園に足を運び、様々なことを意見させてもらった。

〇自分の意見を持つ。

〇税金の使い道やその予算にどれくらい払われるのかを知りたいと考えるようになった。

Q8 その他、全体を通じた感想やコメントをご記入ください。（自由記載）

〇皆さん良い意見を述べていらっしゃって、自分も勉強になりましたし、今後にも活かしていけたらと思います。

〇詳細を決めていくには短い回数なので、また、運営会を開催して、議論したことをぜひ具体化していってほしいです。

〇住民協議会以外にも住民たちの意見を出し合える運営会があっても良いと思う。

〇公園について考える機会、意見を発信できて良かった。

〇色々な意見を集約していくのは困難であると感じました。それでも集約して、ある程度の方向性だけでも出さないと、と思いました。

Q13 その他意見（自由記載）

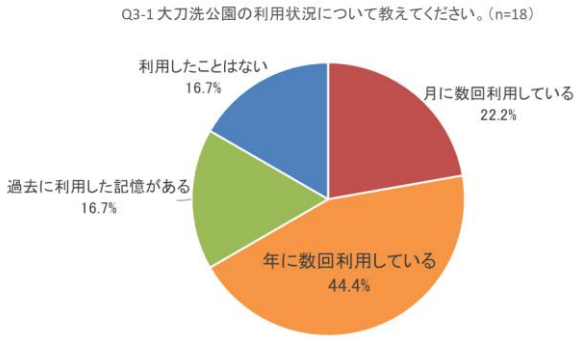
〇住民一人ひとりが考えていくべきとは思うが、今回のように行政が最初に発信なりしてくれたら助かる。

〇子育て世代

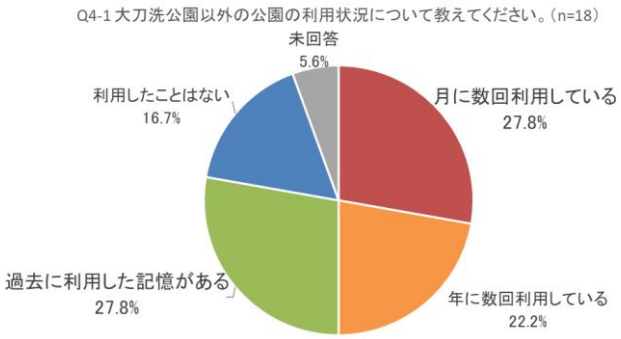
【参考】第 1～3 回住民協議会に実施したアンケート結果（抜粋）を下記に示す。

＜第 1 回住民協議会アンケート（抜粋）＞

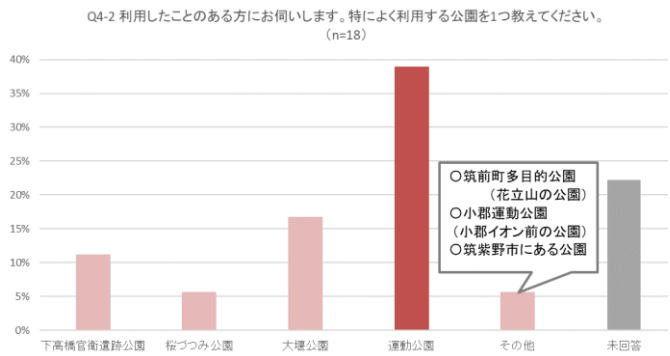
Q3-1 大刀洗公園の利用状況について教えてください。



Q4-1 大刀洗公園以外の公園の利用状況について教えてください。



Q4-2 利用したことのある方にお伺いします。特によく利用する公園を 1 つ教えてください。



Q3-2 大刀洗公園を利用したことのある方にお伺いします。どのような内容で利用しましたか。

（自由記載）

大分類	具体的な利用内容	件数
子育て	子どもと遊ぶ	7 件
健康づくり	散歩・ウォーキング	8 件
	ジョギング	2 件
	健康広場（足ふみ）	1 件
余暇	散策・遊び	2 件
	鯉のエサやり	1 件
地域コミュニティ	夏祭り	3 件
その他	社会科見学	1 件
	トイレの使用	1 件

＜第 2 回住民協議会アンケート（抜粋）＞

Q2 ナビゲーターの講演内容に対する感想、質問や意見がありましたらご記入ください。

（自由記載）

○今あることに何の疑問もなく過ごすのではなく、地域のために積極的に地域がより良くなるように地域のニーズを把握し、実践していくことが大切だと思いました。

○知らない出来事など、他町での例が参考になりました。

○住民自ら参加する形のイベントなど、参考になるお話を興味深く聞けた。

○住民が他人に責任を押し付けなければもっと自由なまちづくりが出来る。これが大切かも。

○色々な地域と関わってこられて、私も大刀洗のことを知っていかないとなと思いました。

○「怪我と弁当は自分持ち」この考え方に深く共感しました。

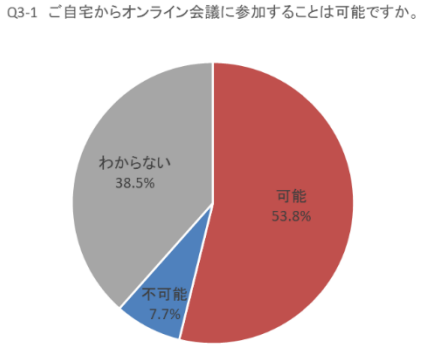
○少し考えが古いと思った。責任と賠償がわかれば 3 つの決まりではいけないと思う。

○学校の先生をされていた立場からの意見が聞けて良かったです。各々が様々な意見を持ち、話し合えるのは大変いい刺激にもなりました。KYT の話も勉強になりました。しかし、住民協議会に参加している人は納得できても、宮崎先生の話が聞けていない町民はやはり柵がないことに不安を感じたままになりそうな気がします。

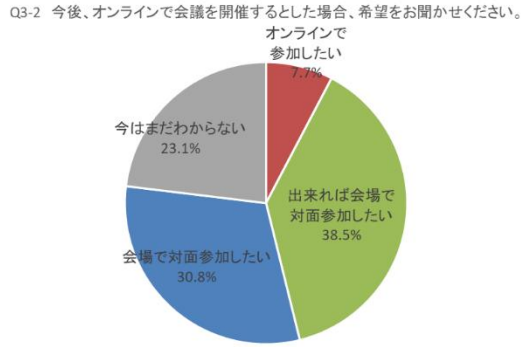
○町民一個人としての意見も大切だが、もっと高い目線から考える必要性を感じた。

Q3 今後、オンラインで住民協議会を開催する場合について、ご意見をお聞かせください。

Q3-1 ご自宅からオンライン会議に参加することは可能ですか。



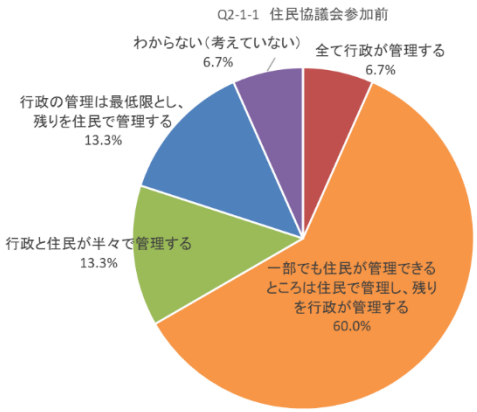
Q3-2 今後、オンラインで会議を開催するとした場合、希望をお聞かせください。



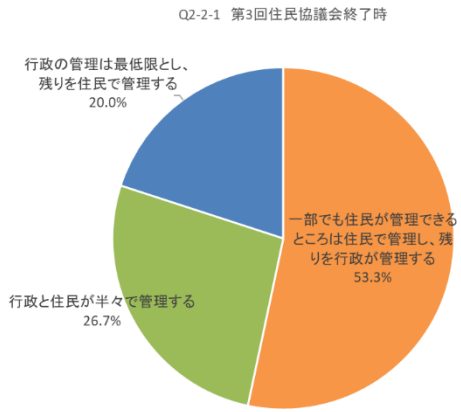
＜第 3 回住民協議会アンケート（抜粋）＞

Q2 住民協議会の参加前と第 3 回終了時点での公園の管理についてのお考えを教えてください。

Q2-1-1 住民協議会参加前



Q2-2-1 第 3 回住民協議会終了時



Q2-1-2 選択の理由（自由記載）※住民協議会参加前

○現状では、町の計画で作られたものなので、作った町が管理するのが当然だと思っていた。

○公園自体の管理は行政側が行う方が良いと思うので。

○利用する際に常識範囲でのマナーは守るべきだが、基本的に行政の管理と思っていた。

○住民が参加できるとは思わなかったから。

〇住民税を払っているから。

〇全てを住民にするならば、公園そのものを 100%住民の意見で作らないといけないと思う。また、行政が入ることで、しっかりとしたメリハリのある管理が出来ると思う。

〇少しでも住民が協力したほうが、より良い公園作りが出来ると思ったから。

〇公立であろうが、一部住民が行っているところもある。

〇法で整備するものと、そうでないものとに分ける。

〇住民では限界がある、行政だけでは費用が掛かりすぎる、半々かと思っていたが、内心では限界があると思っている。

〇定期的に川の掃除をしている（菊池校区）。

〇子どもが小さい頃はたまに利用していたが、公園の管理などについては全く考えていなかった。

Q2-2-2 選択の理由（自由記載）※第 3 回住民協議会終了時

〇日々をよく見ている住民が管理を行う方が、管理が良く行き届くのではないかと思うようになってきた。

〇第 3 回協議会を終えて様々な意見が出てきましたが、出ていた意見のほとんどは行政も関わってくる問題が多かったけれど、住民が協力できるところは協力していくと町が一体化して、より良い公園づくりが出来ると思った。

〇公立であろうが、一部住民が行っているところもある。

〇この会議に参加して、様々な人の意見や自分の想いが出てきて、少しでも取り入れられるのであれば、自分たちで良くしていく行動は取らないといけないと感じた。

〇行政の管理が最終的にある方が望ましいので。

〇行政任せではなく、自分たちでも気付けば管理する。

〇参加したくなったから。

〇予算にも限度がある。

〇行政でなければ出来ないもの（予算、安全等）、たたき台をどうするのかが今後の課題。

〇協力できる住民の数がわからないが、これからのやり方次第なのかも。イベントの後にクリーンイベントをやるとか。

〇出来ることがあるなら出来る範囲でしてもいいかなと思います。

2020 年度住民協議会参加者

委員	矢野　皓一	委員	足立　由紀美
委員	今川　希子	委員	酒井　桂子
委員	江藤　那菜	委員	田中　優子
委員	坂田　美咲	委員	三原　敏裕
委員	岩本　剛	委員	北原　学
委員	田中　誠治	委員	福永　知彦
委員	古賀　美木	委員	平田　智香
委員	鹿川　すみれ	委員	谷　美子
委員	笠　真二	委員	平山　菊江
委員	野村　辰也	委員	中原　周司
委員	内山　恭平	委員	堀口　満弘
委員	上杉　浩二郎	委員	仲野　恒幸

構想日本

＜コーディネーター＞

・荒井英明（構想日本 特別研究員／神奈川県内陸工業団地工業組合 事務局長）

・伊藤　伸（構想日本 総括ディレクター）※第 1 回のみ参加

＜ナビゲーター＞

【第 2 回】

・宮崎　稔（学校と地域の融合教育研究会　会長）